

【タイトル】 ネイチャー・テクノロジー創出システムによるイノベーション創造

【氏名】 木村晴信

【所属】 ネイチャー・テクノロジー研究会

【連絡先】 kimura-h3@mail.dnp.co.jp

【背景と目的】我々は、このまま人間活動の肥大化が進むと 2030 年には地球環境リスクが限界に達する世界に生きている。喫緊に地球環境を悪化させる活動の肥大化を食い止める必要がある。一方内閣府調査では、物の豊かさよりも心の豊かさを求める人々は 7 割近くに上っている。また学生の 90%近くが、将来に何らかの不安を感じていると答えるという。物質的な豊かさは向上しているにも関わらず、どこか満たされないと感じているのが、現代に生きる人々なのである。企業の本来的な役割は人を豊かにすること。これからの企業は、持続可能な暮らしと心豊かな暮らしを両立させる活動を営まなければならない。これを可能にするイノベーション創造手法として「ネイチャー・テクノロジー創出システム」がある。

【内容】ネイチャー・テクノロジー研究会はこの「ネイチャー・テクノロジー創出システム」の精緻化、具体化を進めている。このシステムは、①ライフスタイルデザイン手法：2030 年の厳しい環境制約の中で心豊かに暮らせる生活シーンを考える→②テクノロジーの抽出：暮らしのシーンを構成するテクノロジー要素を抽出する→③自然に学ぶ：必要なテクノロジーを自然の循環の中から見つけ出す→④モノづくり：地球にもっとも負荷のかからないテクノロジーとしてリ・デザインする、という 4 ステップをとる。これにより、低環境負荷で心豊かな暮らしを実現するモノづくりが可能になる。

研究会では研究活動として調査と分科会を行なっている。調査は、低環境負荷で心豊かな暮らしを学ぶための「90 歳ヒアリング」。分科会は、バックキャスト思考を使用し、心豊かなライフスタイルを考える「ライフスタイルデザイン WG」とバックキャスト思考で描いたライフスタイルから生まれたビジネスコンセプトをモノづくりステージに引き上げる「モノづくり WG」。普及・啓発活動として、シンポジウム・アイデアコンテスト・書籍出版を行なっている。シンポジウムは年に 3~4 回。コンテストは年に 1 回、心豊かなライフスタイルを募集し、表彰を行なう。また 2013 年 11 月にはこれまでの活動のまとめとして書籍（後述の参考文献）の出版を行なった。

受賞の実績として、「ネイチャー・テクノロジー創出システム」は 2013 年 10 月に第 3 回生物多様性日本アワード（主催イオン環境財団）の優秀賞、「90 歳ヒアリング」は 2013 年グッドデザイン賞ベスト 100 グッドデザイン・未来づくり賞がある。

【結論】「ネイチャー・テクノロジー創出システム」を活用して、企業や自治体で実績が生まれつつある。今後、産官学民の連携・様々な企業との連携をとりながら社会実装の実績を積み上げていく。

【参考文献】石田秀輝・古川柳蔵監修、ネイチャー・テクノロジー研究会編「2030 年のライフスタイルが教えてくれる『心豊かな』ビジネス」、日刊工業新聞社、2013。

モノづくり日本会議 / ネイチャー・テクノロジー研究会 ネイチャー・テクノロジー創出システム

2013年10月 第3回生物多様性日本アワード(主催イオン環境財団)優秀賞受賞

① ライフスタイルデザイン手法

2030年の厳しい環境制約の中で心豊かに暮らせる生活のシーンを考える

バックキャスト手法を使って心豊かに暮らせるライフスタイルを考えます



② テクノロジーの抽出

暮らしのシーンを構成するテクノロジー要素を抽出

2030年の暮らしを描いた絵から、創らなければいけないテクノロジーを抽出します

④ モノづくり

地球に最も負荷のかからないテクノロジーとしてリ・デザインする

自然から学んだ知恵から、低環境負荷・高機能な材料をつくりだします



水のいらぬお風呂



無電源エアコン

③ 自然に学ぶ

2030年に必要なテクノロジーを自然の循環の中から見つけ出す

抽出したテクノロジーに必要な技術要素を自然の中を探します



研究活動

調査

90歳ヒアリング

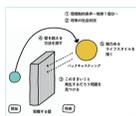
2013年グッドデザイン賞ベスト100 グッドデザイン・未来づくり賞受賞
現代社会が失いつつある低環境負荷で心豊かな暮らし方を調査・分析する。90歳の人々にヒアリングを実施し、心豊かな暮らし方を聞き出し、現代社会に再導入し、後世に伝え、持続可能な社会に向けて舵をきる。90歳の人々は戦前(1941年)に20歳。90歳ヒアリングにより、「地域らしさ」が見出せる。



分科会①

ライフスタイルデザイン WG

バックキャスト思考を使って心豊かなライフスタイルを考え、ビジネスコンセプトを創出、社会導入の検討を行う。



公共交通機関との「未来の駅」ビジョン作成

2013年8月21日 日刊工業新聞
「から逆算」

地方自治体との「未来の公共サービス」による地域活性化



分科会②

モノづくり WG



バックキャストで描いたライフスタイルから生まれたビジネスコンセプトを「ものづくり」ステージに引き上げる。必要なテクノロジーを自然の中から見つけ出し、次に地球に最も負荷のかからないテクノロジーとしてリ・デザインする。更には実現へ向けてのフィジビリティスタディを行う。

「アップサイクルステーション」で検討

普及・啓発活動

シンポジウム



2012年度：4回
2013年度：3回
都内にて実施

次回、
3月28日(金)
14:30~17:10
東海大学校友会館35階
で実施

出版

2030年のライフスタイルが教えてくれる「心豊かな」ビジネス



2013年11月
日刊工業新聞社より発行

アイデアコンテスト

2030年の『心豊かな』
ライフスタイルコンテスト

<第1回受賞作品>

